ポスター発表

2025年11月1日(土) 13:00 ~ 13:50 | 会場(金森産業ホール)
[P1] ポスター発表 #1

[P1-28] 平均寿命と健康寿命の地域的・社会的要因分析

*松本 直樹[1]、河端 瑞貴[1]、直井 道生[1]、森岡 渉[2]、今中 雄一[3] (1. 慶應義塾大学、2. ソールズベリー大学、3. 京都大学)

キーワード：健康寿命、平均寿命、地域差、回帰分析、空間統計

高齢化社会が進行する日本において、健康寿命の延伸は社会保障制度の持続可能性に直結する喫緊の課題である。平均寿命に影響を及ぼす各種要因に関する研究は一定の蓄積が進んでいるが、健康寿命と平均寿命の差（不健康期間）に着目し、その地域差に影響を与える要因等を時系列で分析した研究はほとんど見られない。持続可能な社会の実現や、国民の自己実現を支える社会構築の観点からも、不健康期間の短縮は今後ますます重要なテーマになると考えられる。そこで本研究では、平均寿命・健康寿命・不健康期間に関連する地域的・社会的要因を時系列の観点を加えながら明らかにすることを目的とする。対象地域は日本全国とし、空間単位には二次医療圏を用いる。平均寿命には厚生労働省の公的統計データを、健康寿命には介護保険データ等を基に算出した健康期間の平均値等を用いる。本研究の成果が、不健康期間の短縮に資する政策的示唆を提供することを期待する。

©一般社団法人地理情報システム学会